

平成24年度公共用水域及び
地下水の水質測定計画

岡山県

目 次

平成 2 4 年度公共用水域の水質測定計画 1

平成 2 4 年度地下水の水質測定計画 2 2

平成 24 年度公共用水域の水質測定計画

1 目的

平成 24 年度における岡山県内の公共用水域の水質の汚濁の状況を常時監視するため、水質汚濁防止法第 16 条の規定に基づき水質測定計画を定める。

2 対象水域

河川 41 水域、湖沼 1 水域、海域 10 水域の合計 52 水域を対象とする。

河 川	高梁川水域	高梁川上流、高梁川中流(1)、高梁川中流(2)、高梁川下流、西川、小坂部川、有漢川、成羽川、小田川上流、小田川下流、美山川(星田川を含む。)、里見川、佐伏川*
	旭川水域	旭川上流、旭川中流、旭川下流、新庄川、百間川、砂川、目木川*、備中川*、誕生寺川*、宇甘川*
	吉井川水域	吉井川上流、吉井川中・下流、加茂川、梶並川、滝川、吉野川、金剛川、香々美川*、皿川*、宮川*
	笹ヶ瀬川水域	笹ヶ瀬川、足守川上流、足守川下流、相生川*
	倉敷川水域	倉敷川(流入支川を含む。)
		高屋川、伊里川(大谷川を含む。)、小田川(児島)*
湖 沼	児島湖	
海 域	水島水域	玉島港区、水島港区、水島地先海域(甲)、水島地先海域(乙)
	児島湾水域	児島湾(甲)、児島湾(乙)、児島湾(丙)
		備讃瀬戸、牛窓地先海域、播磨灘北西部

※ *印は環境基準の類型指定をしていない水域を示す。(河川 10 水域)

3 測定機関

岡山県、国土交通省、岡山市及び倉敷市

4 測定地点、測定項目及び頻度等

河川 86 地点、湖沼 4 地点、海域 69 地点の合計 159 地点において、別表 1、別表 2 及び別表 3 のとおり実施する。なお、測定地点の位置図は、別図 1 から別図 8 のとおりである。

(1) 測定地点の概要

ア 測定機関別の地点数

区 分	岡山県	国土交通省	岡山市	倉敷市	合 計
河 川	51(20)	15(8)	16(5)	4(0)	86(33)
湖 沼	-	-	4(2)	-	4(2)
海 域	35(13)	-	13(9)	21(7)	69(29)
合 計	86(33)	15(8)	33(16)	25(7)	159(64)

※ () は環境基準点の再掲。

イ 測定項目別の地点数

区分	健康項目	生活環境項目				その他調査項目		
		環境基準点	補助点	その他	計	栄養塩類等	要監視項目	要測定指標
河川	46	33	42	11	86	37	13	38
湖沼	2	2	2	-	4	4	-	4
海域	36	29	40	-	69	35	13	69
合計	84	64	84	11	159	76	26	111

※「環境基準点」とは、環境基準の達成状況を評価するための測定地点をいう。

「補助点」とは、環境基準点を補足する測定地点をいう。

「その他」とは、環境基準の類型指定のない水域における測定地点をいう。

(2) 測定項目及び頻度の考え方

ア 健康項目は、環境基準点及び主な補助点で年1～4回測定する。

イ 生活環境項目は、年12回測定する。ただし、環境基準点は、2回を通日測定し、年18回とする。

※「通日測定」とは、河川及び湖沼では6時間ごとに1日4回、海域では満潮・干潮時に表層及び中層で1日2回測定することをいう。

ウ 栄養塩類等（全窒素、全りん、硝酸性窒素、亜硝酸性窒素、アンモニア性窒素、りん酸態りん、クロロフィルa等）は、海域、児島湖及びダム湖並びにその流入河川で年1～18回測定する。

エ 要監視項目は、主な環境基準点及び補助点で年1回測定する。

オ 要測定指標（大腸菌数（河川）、透明度（湖沼・海域）、下層DO（湖沼・海域））は、年4回～18回測定する。

カ その他必要に応じ測定する。

5 測定方法

ア 測定方法及び報告下限値は、別表4のとおりとする。

イ 採水日は、河川及び湖沼では、採水日前において比較的晴天が続き水質が安定している日を選び、海域では、大潮期の風や雨の影響の少ない日を選ぶ。

ウ 採水位置は、河川では、流心で水面から水深の2割程度の深さとし、湖沼では表層（水面下0.5m）とし、海域では表層（海面下0.5m）及び中層（海面下2m）とする。
なお、下層DOの測定深さは、湖底又は海底直上0.5～1mとする。

6 結果通知等

国土交通省、岡山市及び倉敷市は、毎月、水質測定が終了したときは、電子ファイル形式により測定結果を岡山県に通知する。

なお、健康項目が環境基準を超過した場合は、直ちに、岡山県に通報する。

7 緊急時対応

新たな汚染が懸念される災害や不法投棄等が発生・発見されたときは、その影響範囲の把握及び原因究明等のため緊急モニタリングを必要に応じ実施するものとし、これに係る水質測定計画は、それぞれの事案に応じ別途作成する。

別表2 測定地点、測定項目及び頻度（湖沼） 児島湖

生活環境の保全に関する環境基準	全窒素及び全りんに係る環境基準	岡山県地点番号 地番	環境基準地点 ◎COD又はBOD □全窒素及び全りん	測定地点名	測定頻度		生 産 環 境 項 目		健 康 項 目		そ の 他 項 目																	要 監 視 要 指 標		測 定 機 関 名																				
					測定回数	測定日数	測定回数	測定日数	全カドミウム	全窒素	全りん	油分	COD	BOD	SS	鉛	全六価クロム	水銀	PCB	ジクロロメタン	四塩化炭素	1,1-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,1-トリクロロエチレン	1,2-ジクロロエチレン	1,1,2-トリクロロエタン		トリスクロロエチレン	トリスクロロプロペン	シマジン	チオキサラム	チオベンカルブ	セレン	硝酸性窒素	亜硝酸性窒素	珪酸	浮遊性窒素	ぼうじん	1,4-ジオキサン	銅	溶解性鉄	溶解性マンガン	クロム	アモニウム	亜硝酸性窒素	アンモニア性窒素	有機窒素
児島湖	児島湖	401		笹ヶ瀬川河口部	12	12	12	18	18	18													4	4																		12	12	岡山						
児島湖	児島湖	402		倉敷川河口部	12	12	12	18	18	18													4	4																			12	12	岡山					
児島湖	児島湖	403	◎	湖心	12	12	12	18	18	18													12	12	4	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	18	18	岡山		
児島湖	児島湖	404	◎	樋門	12	12	12	18	18	18													12	12	4	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	18	18	岡山	

(備考) 達成期間の分類 イ：直ちに達成 ロ：5年以内で可及的速やかに達成 ハ：5年を超えて可及的速やかに達成

別表3 測定地点、測定項目及び頻度（海域） その3 備讃瀬戸

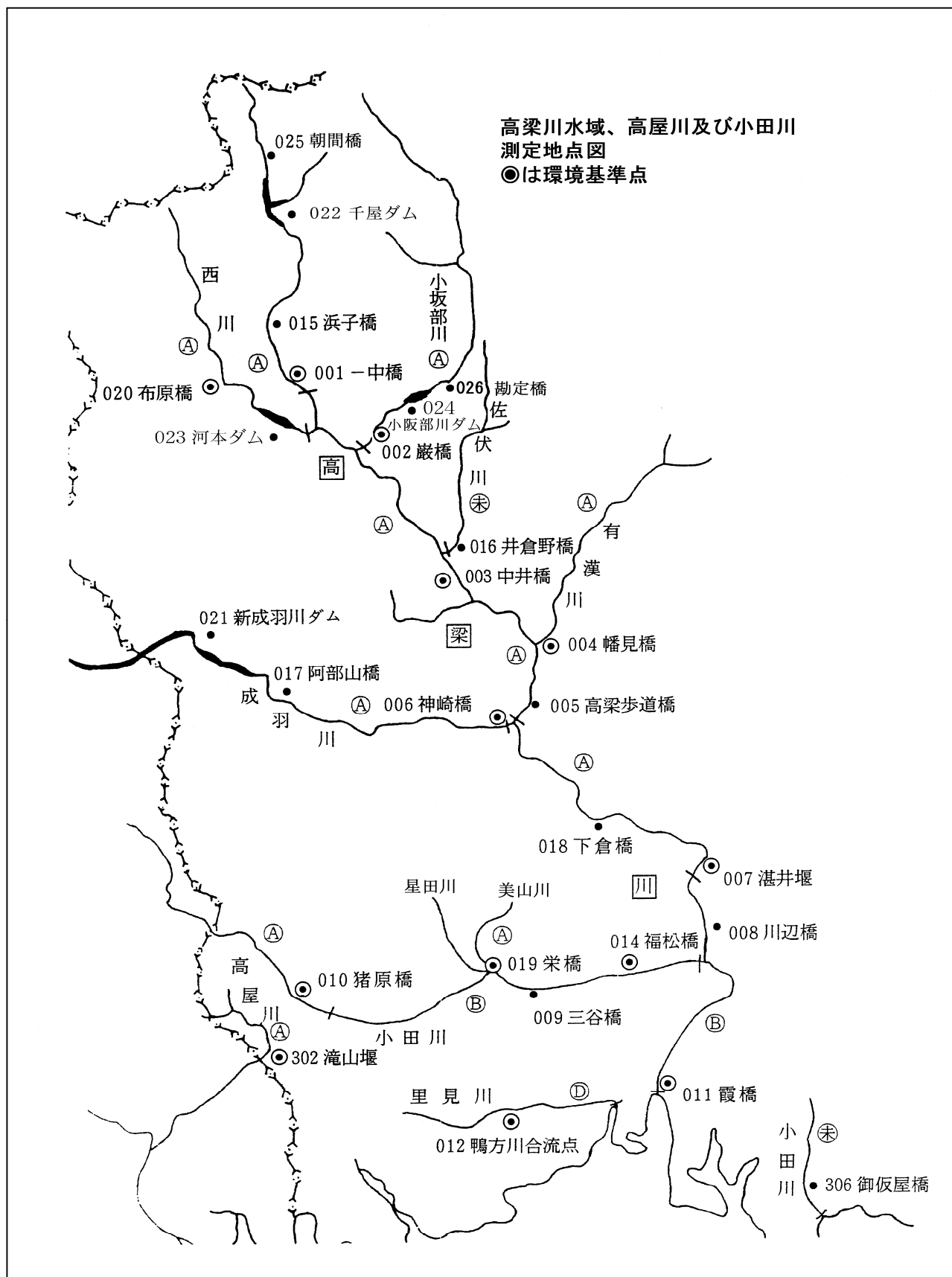
生活環境の保全に 関する環境基準	全窒素及び 全りん に係る環境基準	岡山県 地番	環境基準 種別	測定地点名	測定頻度		生活環境項目		健康項目		その他項目		要監視 項目	要指標	測定 機関名	
					測定 月数	測定 回数	全 項目	大 項目	全 項目	大 項目	全 項目	大 項目				
備	IIイ	備讃瀬戸 (ロ)	◎COD又はBOD	片島沖	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	岡山県	
				神島御崎沖	12	12	18	14	18	18	18	18	18	14	14	岡山県
				MCF沖	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	岡山県
				神島鹿落鼻沖	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	岡山県
				青佐鼻沖	12	12	18	14	18	18	18	18	14	14	14	岡山県
				北木島布越崎北	12	12	18	14	18	18	18	18	14	14	14	岡山県
				真鍋島南	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	岡山県
				JFEスチール東	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	岡山県
				白石島西沖	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	岡山県
				真鍋島西沖	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	岡山県
瀬	IIイ	備讃瀬戸 (イ)	◎	味野沖	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	倉敷市	
				洪川沖	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	岡山県	
				荒神島西	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	岡山県	
戸	IIイ	備讃瀬戸 (イ)	◎	久須美鼻東	12	12	18	14	18	18	18	14	14	14	倉敷市	
				大徳島北	12	12	18	14	18	18	18	14	14	14	岡山県	
				高辺鼻沖	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	岡山県	
				後関沖	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	岡山県	
				引網沖	12	12	12	12	12	12	12	12	倉敷市			
				壱嶋島南東	12	12	12	12	12	12	12	12	倉敷市			

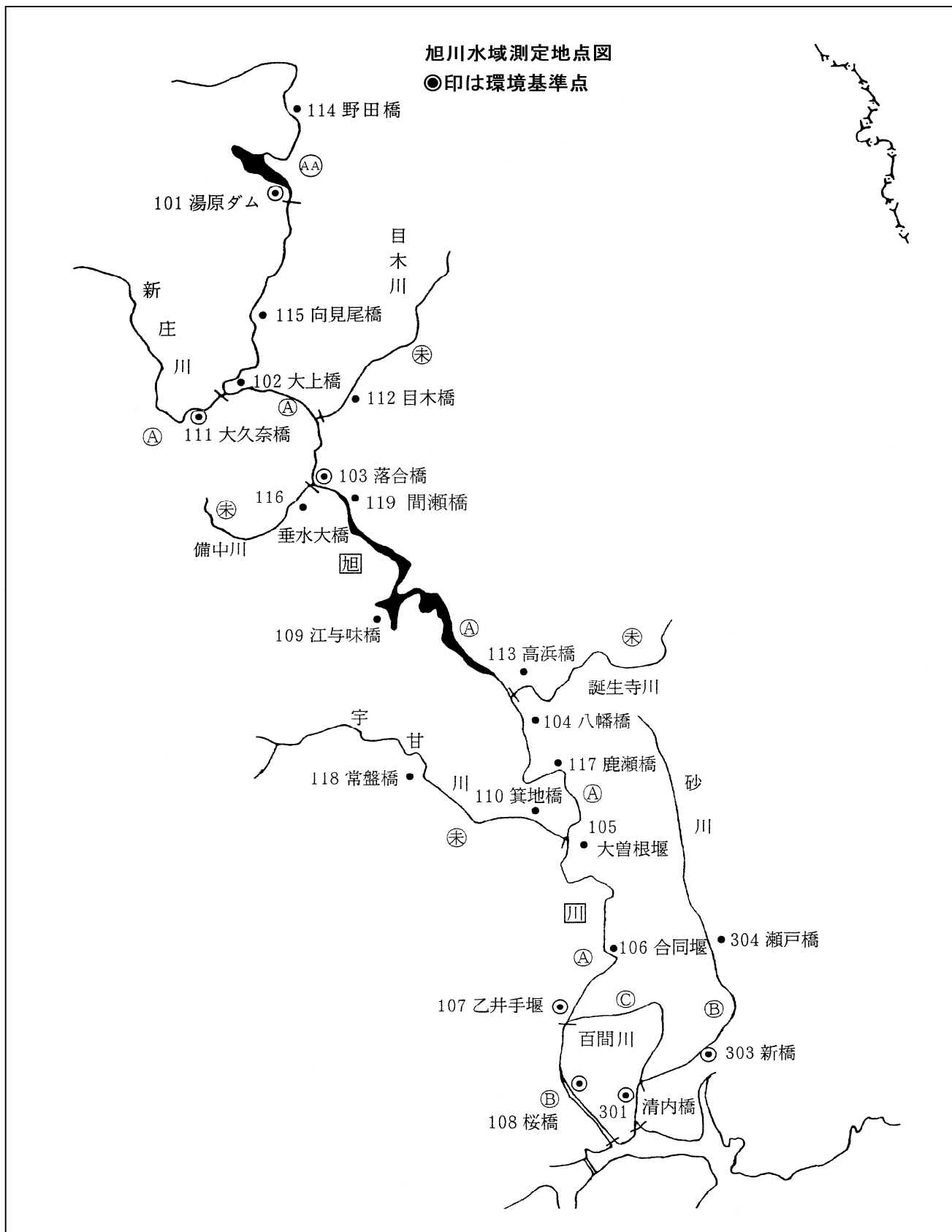
(備考) 達成期間の分類 イ：直ちに達成 ロ：5年以内で可及的速やかに達成 ハ：5年を超える期間で可及的速やかに達成

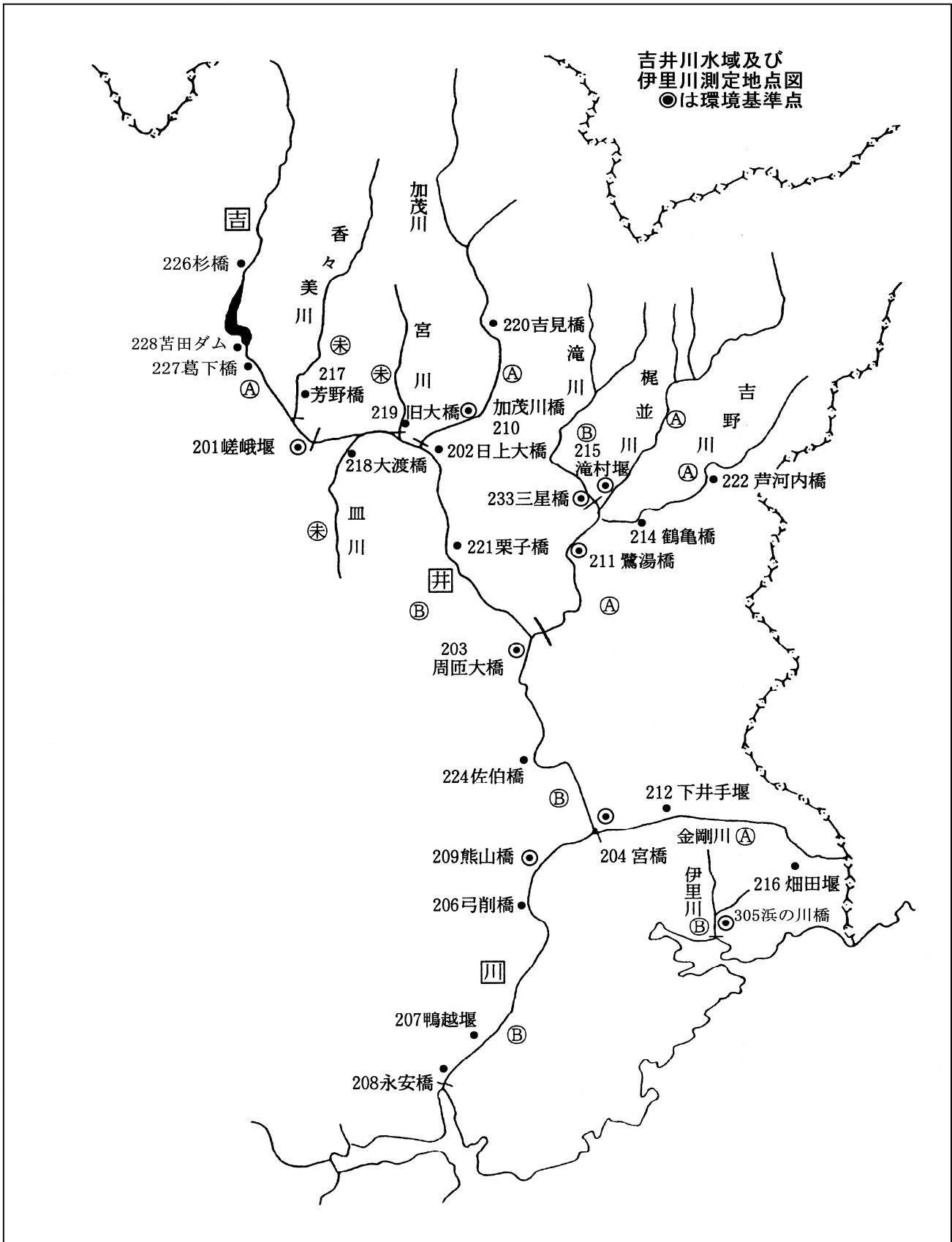
別表3 測定地点、測定項目及び頻度（海域） その4 その他の水域

生活環境の保全に 関する環境基準	全窒素及び 全りん に係る環境基準	岡山県 地番 番	環境 基準 種 点 点	測定地点名	測定頻度		生活環境項目		健康項目		その他項目		要監視項目	要指標	測定 機関名
					測定 月数	測定 回数	透 明 度	全 カ ド ミ ウ ム	全 カ ド ミ ウ ム	全 カ ド ミ ウ ム	全 カ ド ミ ウ ム	全 カ ド ミ ウ ム			
牛窓地先海域	牛窓地先海域	903	◎	錦海灣	12	18	14	18	18	18	18	18	12	14	岡山県
		904		前島北西	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	岡山県
		905	◎	前島南西	12	12	18	14	18	18	18	18	14	14	岡山県
		906	□	前島東南	12	12	18	14	18	18	18	18	14	14	岡山県
		901		布茨沖	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	岡山県
		902		頭島東	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	岡山県
		907		長島船越沖合	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	岡山県
		908	◎	長島西南沖	12	12	18	14	18	18	18	18	14	14	岡山県
		909	◎	大多府島東南沖	12	12	18	14	18	18	18	18	14	14	岡山県
		910	◎	鹿久居島東沖	12	12	18	14	18	18	18	18	14	14	岡山県
		911		鹿久居島米子湾北	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	岡山県
		912		備前市前島北	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	岡山県
		913		青島東沖	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	岡山県
		914		大多府島南沖	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	岡山県
		915		赤穂港沖合	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	岡山県

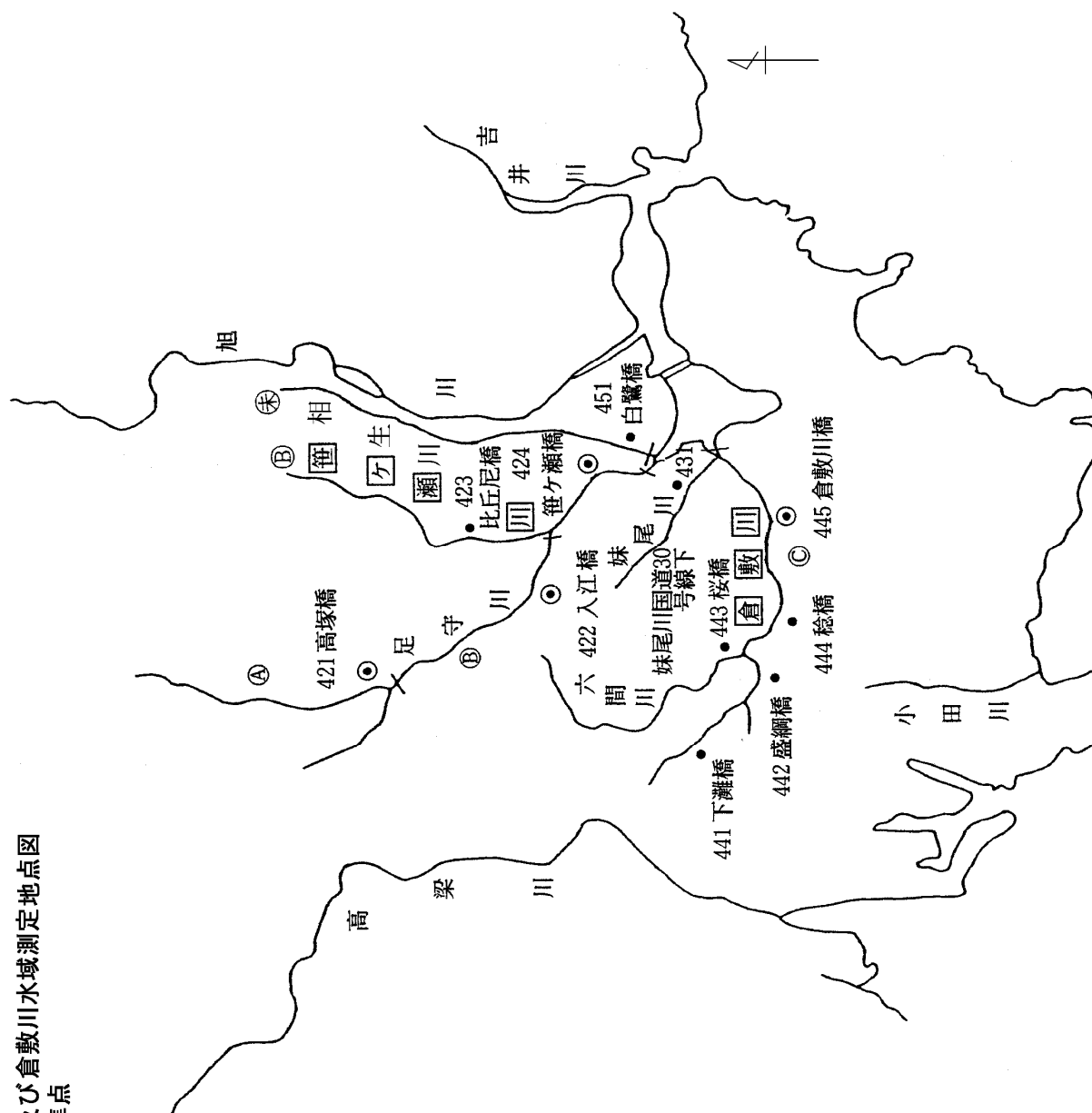
(備考) 達成期間の分類 イ：直ちに達成 ロ：5年以内で可及的速やかに達成 ハ：5年を超える期間で可及的速やかに達成

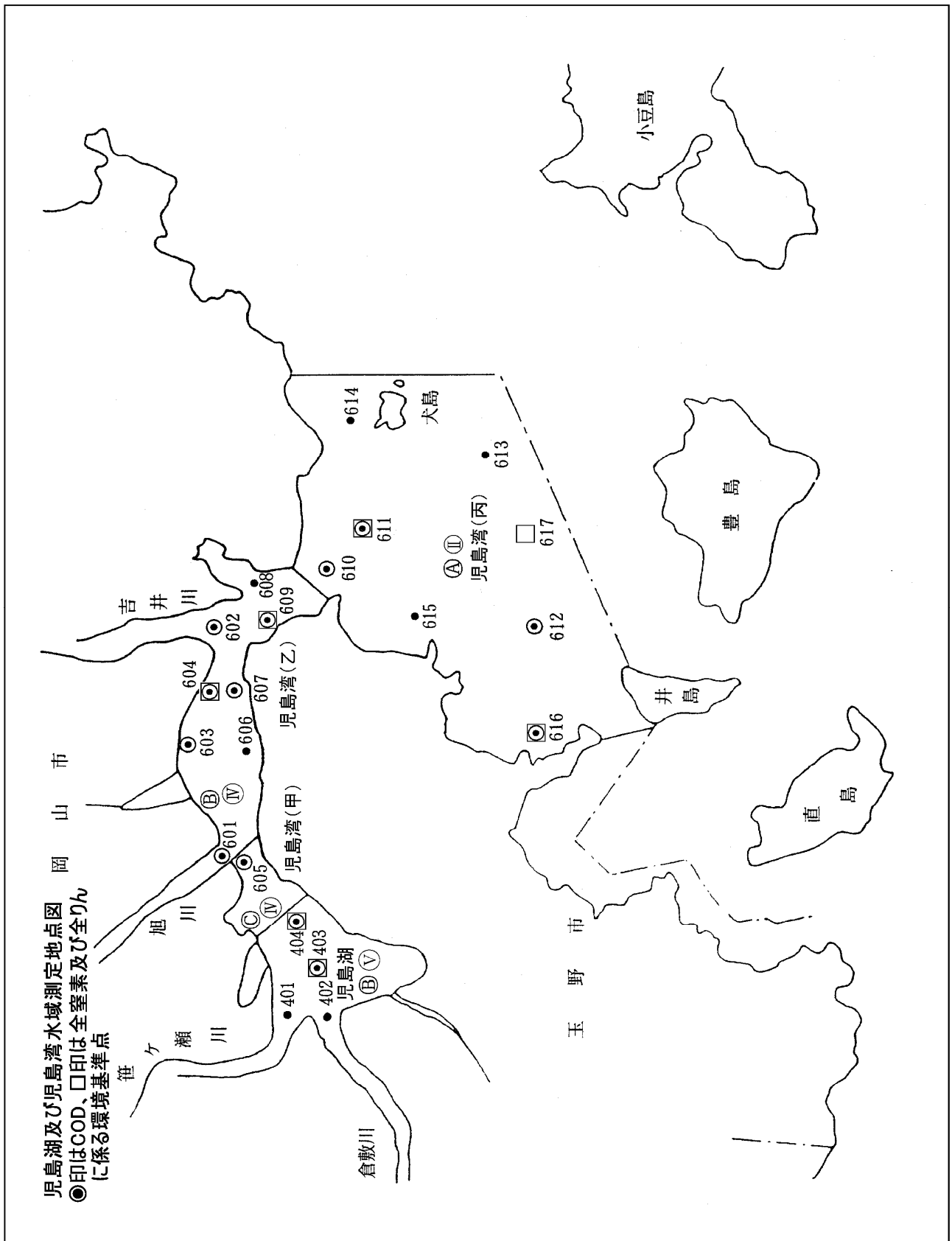


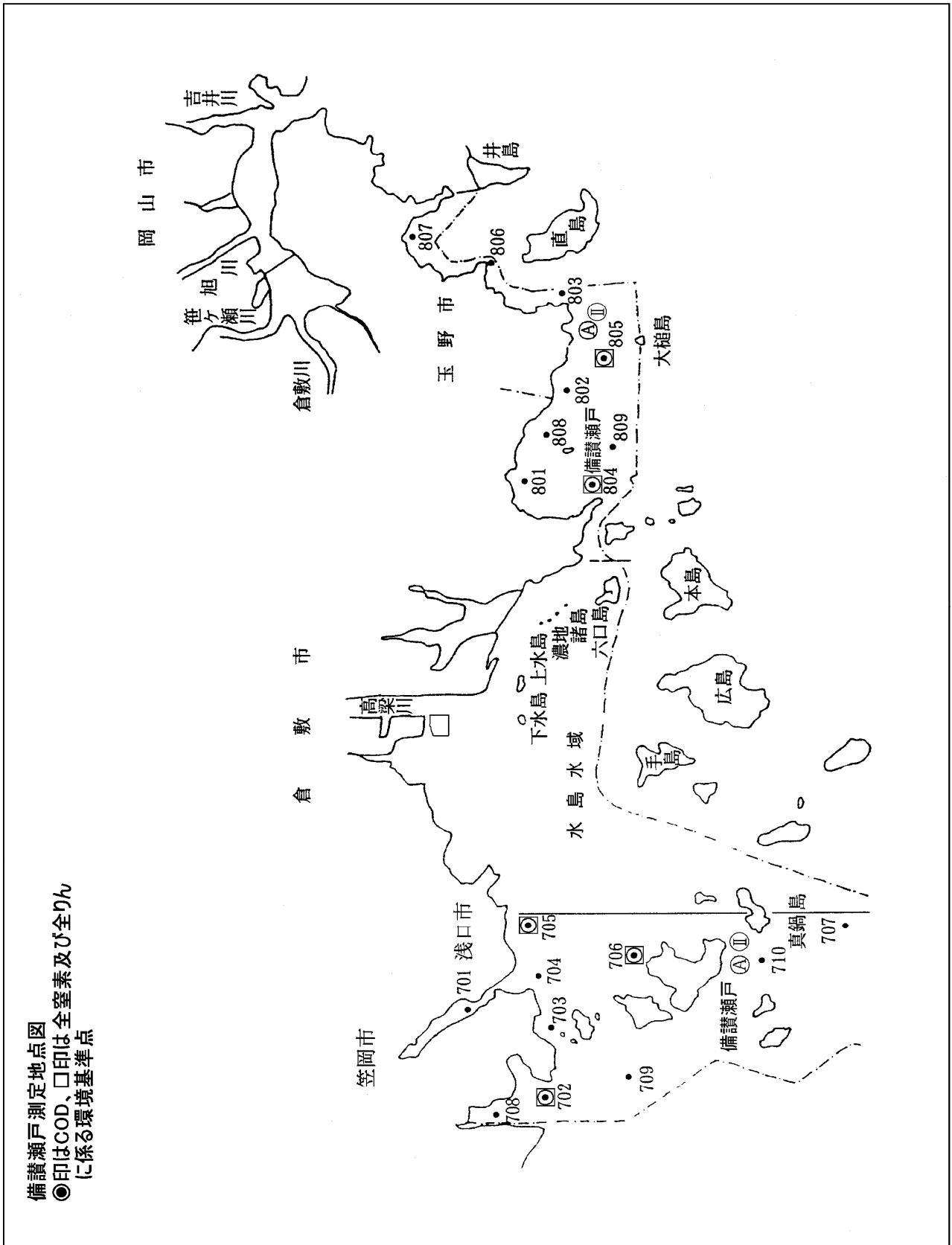


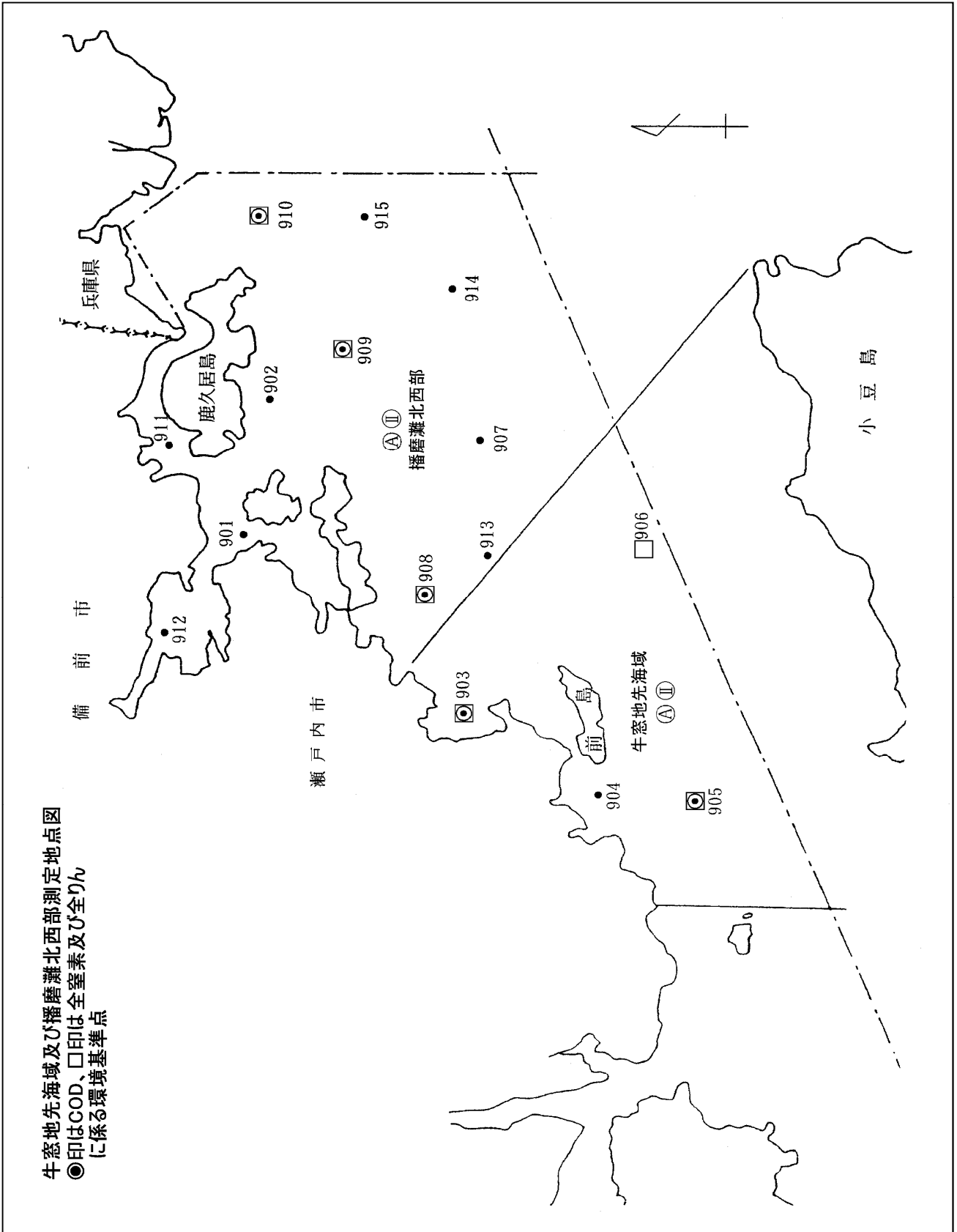


笹ヶ瀬川水域及び倉敷川水域測定地点図
 ●印は環境基準点









別表4 測定方法及び報告下限値（公共用水域）

測定項目	測定方法	報告下限値 (mg/L)	左記未満 の表記	
生活環境項目	水素イオン濃度(pH)	日本工業規格 K0102(以下、「規格」という。)12.1 に定める方法	—	—
	溶存酸素量(DO)	規格 32 に定める方法	0.5	<0.5
	生物化学的酸素要求量(BOD)	規格 21 に定める方法	0.5	<0.5
	化学的酸素要求量(COD)	規格 17 に定める方法	0.5	<0.5
	ルマルヘキサン抽出物質(油分等)	昭和 46 年環境庁告示第 59 号(以下、「告示」という。)付表 10 に掲げる方法	0.5	ND
	浮遊物質(SS)	告示付表8に掲げる方法	1	<1
	大腸菌群数	告示別表2備考4に掲げる方法(BGLB法の最確数による定量法)	1.8 (MPN/100mL)	<1.8E00
	全窒素	規格 45.2、45.3 又は 45.4 に定める方法(ただし海域にあつては規格 45.4)	0.05	<0.05
	全りん	規格 46.3 に定める方法	0.003	<0.003
	全亜鉛	規格 53 に定める方法(準備操作は規格 53 に定める方法によるほか、付表9に掲げる方法によることができる。また、規格 53 で使用する水については付表9の1(I)による。)	0.001	<0.001
健康項目	カドミウム	規格 55.2、55.3 又は 55.4 に定める方法(準備操作は規格 55 に定める方法によるほか、付表8に掲げる方法によることができる。)	0.0003	<0.0003
	全シアン	規格 38.1.2 及び 38.2 に定める方法又は規格 38.1.2 及び 38.3 に定める方法	0.1	ND
	鉛	規格 54 に定める方法	0.005	<0.005
	六価クロム	規格 65.2 に定める方法	0.02	<0.02
	ヒ素	規格 61.2、61.3 又は 61.4 に定める方法	0.005	<0.005
	総水銀	告示付表1に掲げる方法	0.0005	<0.0005
	アルキル水銀	告示付表2に掲げる方法	0.0005	ND
	PCB	告示付表3に掲げる方法	0.0005	ND
	ジクロロタン	日本工業規格 K0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.2 に定める方法	0.002	<0.002
	四塩化炭素	日本工業規格 K0125 の 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1 又は 5.5 に定める方法	0.0002	<0.0002
	1,2-ジクロロエタン	日本工業規格 K0125 の 5.1、5.2、5.3.1 又は 5.3.2 に定める方法	0.0004	<0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	日本工業規格 K0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.2 に定める方法	0.002	<0.002
	シス-1,2-ジクロロエチレン	同上	0.004	<0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	日本工業規格 K0125 の 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1 又は 5.5 に定める方法	0.0005	<0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	同上	0.0006	<0.0006
	トリクロロエチレン	同上	0.002	<0.002
	テトラクロロエチレン	同上	0.0005	<0.0005
	1,3-ジクロロプロパン	日本工業規格 K0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.1 に定める方法	0.0002	<0.0002
	チラウム	告示付表4に掲げる方法	0.0006	<0.0006
	シマジン	告示付表5の第1又は第2に掲げる方法	0.0003	<0.0003
	チオベンカルブ	同上	0.002	<0.002
	ベンゼン	日本工業規格 K0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.2 に定める方法	0.001	<0.001
	セレン	規格 67.2、67.3 又は 67.4 に定める方法	0.002	<0.002
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	硝酸性窒素にあつては、規格 43.2.1、43.2.3 又は 43.2.5 に定める方法	0.02	<0.02
		亜硝酸性窒素にあつては、規格 43.1 に定める方法	0.01	<0.01
		硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の濃度は、規格 43.2.1、43.2.3 又は 43.2.5 により測定された硝酸イオンの濃度に換算係数 0.2259 を乗じたものと、規格 43.1 により測定された亜硝酸イオンの濃度に換算係数 0.3045 を乗じたものの和とする。	0.03	<0.03
	ふっ素	規格 34.1 に定める方法又は規格 34.1c) (注(6)第三文を除く。)に定める方法(懸濁物質及びイオンクロマトグラフ法で妨害となる物質が共存しない場合にあつては、これを省略することができる。)及び付表6に掲げる方法	0.08	<0.08
ほう素	規格 47.1、47.3 又は 47.4 に定める方法	0.03	<0.03	
1,4-ジオキサン	付表7に掲げる方法	0.005	<0.005	

測定項目		測定方法	報告下限値 (mg/L)	左記未満 の表記
その他項目	銅	規格 52.2、52.4 又は 52.5 に定める方法	0.01	<0.01
	溶解性鉄	日本工業規格 M0202 の 32.a).2) 又は 32.a).3) 及び規格 57.2 又は 57.4 に定める方法	0.01	<0.01
	溶解性マンガン	日本工業規格 M0202 の 33.a).2) 又は 33.a).3) 及び規格 56.2、56.4 又は 56.5 に定める方法	0.01	<0.01
	総クロム	規格 65.1 に定める方法	0.03	<0.03
	アンモニア性窒素	海洋観測指針及び上水試験方法に掲げる方法又は規格 42.2 に定める方法	0.01	<0.01
	りん酸態りん	海洋観測指針に掲げる方法	0.01	<0.01
	塩素量	海洋観測指針 5.3(サリメーターによる方法)に掲げる方法	—	—
	クロロフィルa	海洋観測指針及び上水試験方法又は河川水質試験方法(旧建設省)に掲げる方法	0.1 ($\mu\text{g/L}$)	<0.1
トリハロタン生成能	平成 7 年環境庁告示第 30 号に定める方法	0.0005	<0.0005	
要監視項目	クロホルム	日本工業規格 K0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.1 に定める方法	0.0006	<0.0006
	トランス-1,2-ジクロロエチレン	同上	0.004	<0.004
	1,2-ジクロロプロパン	同上	0.006	<0.006
	p-ジクロロベンゼン	同上	0.02	<0.02
	イキサチオン	平成 5 年 4 月 28 日付け環水規第 121 号付表(以下、「付表」) 1) の第 1 又は第 2 に掲げる方法	0.0008	<0.0008
	ダイアジリン	付表 1 の第 1 又は第 2 に掲げる方法	0.0005	<0.0005
	フェントロチオン(MEP)	同上	0.0003	<0.0003
	イプロチオラン	同上	0.004	<0.004
	オキシ銅(有機銅)	付表 2 に掲げる方法	0.004	<0.004
	クロタロニル(TPN)	付表 1 の第 1 又は第 2 に掲げる方法	0.004	<0.004
	プロピザミド	同上	0.0008	<0.0008
	EPN	同上	0.0006	<0.0006
	ジクロルボス(DDVP)	同上	0.001	<0.001
	フェノバルブ(BPMC)	同上	0.002	<0.002
	イプロヘンホス(IBP)	同上	0.0008	<0.0008
	クロニトロフェン(CNP)	同上	0.0001	<0.0001
	トルエン	日本工業規格 K0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.2 に定める方法	0.06	<0.06
	キシレン	同上	0.04	<0.04
	フタル酸ジエチルヘキシル	付表 3 の第 1 又は第 2 に掲げる方法	0.006	<0.006
	ニッケル	規格 59.3 に定める方法又は付表 4 若しくは付表 5 に掲げる方法	0.005	<0.005
	モリブデン	規格 68.2 に定める方法又は付表 4 若しくは付表 5 に掲げる方法	0.01	<0.01
	アンチモン	平成 16 年 3 月 31 日付け環水企発第 040331003 号環水管発第 040331005 号通知(以下、「追加通知」)付表 5 の第 1、第 2 又は第 3 に掲げる方法	0.0005	<0.0005
	塩化ビニルモノマー	追加通知付表 1 に掲げる方法	0.0002	<0.0002
エピクロロヒドリン	追加通知付表 2 に掲げる方法	0.0001	<0.0001	
全マンガン	規格 56.2、56.3、56.4 又は 56.5 に定める方法	0.02	<0.02	
ウラン	追加通知付表 4 の第 1 又は第 2 に掲げる方法	0.0002	<0.0002	
フェノール	平成 15 年 11 月 5 日付け環水企発第 031105001 号環水管発第 031105001 号通知付表 1 に掲げる方法	0.001	<0.001	
ホルムアルデヒド	同上通知付表 2 に掲げる方法	0.003	<0.003	
要測定指標	大腸菌数	平成 23 年 3 月 24 日付け環水大発第 110324001 号別添 2 の 4. 第 1 又は第 2 に掲げる方法	1	<1
	下層 DO	規格 32 に定める方法	0.5	<0.5

備考 上表に掲げる報告下限値は、定量下限値と同じ数値とする。

平成 24 年度地下水の水質測定計画

1 目的

平成 24 年度における岡山県内の地下水の水質の汚濁の状況を常時監視するため、水質汚濁防止法第 16 条の規定に基づき水質測定計画を定める。

2 調査種別

(1) 概況調査

地域の全体的な地下水質の概況を把握するため、調査を実施する。

(2) 継続監視調査

概況調査等により汚染が確認された地域における地下水の状況を把握するため、継続的に調査を実施する。

3 測定機関

岡山県、岡山市及び倉敷市

4 測定地点、測定項目及び頻度等

概況調査 31 地点、継続監視調査 12 地点において、別表 1 のとおり実施する。なお、測定地点の位置図は別図のとおりである。

(1) 測定地点の概要

区分	岡山県	岡山市	倉敷市	合計
概況調査	19	6	6	31
継続監視調査	2	6	4	12
合計	21	12	10	43

※概況調査はローリング方式により実施する。

※継続監視調査の内訳

岡山県：揮発性有機化合物（2 地点）

岡山市：鉛（2 地点）、ひ素（2 地点）、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素（2 地点）、ふっ素（2 地点）

倉敷市：揮発性有機化合物（3 地点）、ひ素（1 地点）、ふっ素（1 地点）

(2) 測定項目及び測定頻度

ア 概況調査

環境基準の全項目を年 1 回測定する。

要監視項目は、2 地点で年 1 回測定する。

イ 継続監視調査

環境基準の超過項目等を、年 1～2 回測定する。

5 測定方法

ア 測定方法及び定量下限値は、別表2のとおりとする。

イ 採水日は、前日の天候が比較的安定している日を選ぶ。

ウ 採水位置は、表層（水面下 0.5m）からとする。ただし、打ち込み井戸等において揚水ポンプを使用している場合は、流水を採水する。

6 結果通知等

岡山市及び倉敷市は、水質測定が終了したときは、電子ファイル形式により測定結果を岡山県に通知する。

なお、環境基準項目が基準値を超過した場合は、直ちに、岡山県に通報する。

7 緊急時対応

(1) 汚染井戸発見時

概況調査により新たに発見された汚染や事業者からの報告等により新たに明らかになった汚染については、その汚染範囲を確認するために汚染井戸周辺地区調査を実施するものとし、その水質測定計画については事案ごとに別途作成する。

(2) 災害等発生時

地震等の災害等が発生した場合、新たな地下水の汚染やその拡散が懸念されるため緊急的なモニタリングを必要に応じ実施するものとし、これに係る水質測定計画は、それぞれの事案に応じ別途作成するものとする。

別表1 測定地点、測定項目及び頻度（地下水） その1 概況調査

番号	所在地	測定地点 (メッシュ番号)	測定回数	環境基準													項目				測定機関													
				カドミウム	全シアン	鉛	六価クロム	ひ素	総水銀	アルキル水銀	PCB	ジクロロメタン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	塩化ビニルモノマー	1,1-ジクロロエチレン	1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	トリクロロエチレン		テトラクロロエチレン	1,3-ジクロロプロペン	チウラム	シマジン	オベシカルブ	ベンゼン	セレン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ふっ素	ほう素	1,4-ジオキサン	要監視項目(24項目)	
1	玉野市八浜町波知	N-20	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	岡山県
2	備前市伊里中	S-15	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	〃
3	赤磐市奥吉原	R-15	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	〃
4	瀬戸内市邑久町豊原	Q-18	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	〃
5	和気町清水	R-15	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	〃
6	笠岡市西大島	F-22	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	〃
7	井原市美星町明治	F-17	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	〃
8	総社市新本	H-17	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	〃
9	高梁市川上町高山市	C-16	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	〃
10	新見市哲西町大竹	A-12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	〃
11	浅口市鴨方町小坂西	F-20	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	〃
12	早島町早島	K-19	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	〃
13	里庄町大字新庄	F-21	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	〃
14	津山市宮部上	L-07	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	〃
15	真庭市日野上	I-09	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	〃
16	美作市今岡	V-07	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	〃
17	勝央町勝間田	Q-09	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	〃
18	西粟倉村知社	U-06	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	〃
19	美咲町北	L-09	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	〃
20	岡山市北区吉備津	L-17	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	岡山市
21	岡山市北区下高田	L-15	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	〃
22	岡山市北区御津川高	M-15	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	〃
23	岡山市南区灘崎植松	L-20	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	〃
24	岡山市中区国富	N-18	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	〃
25	岡山市北区吉宗	M-16	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	〃
26	倉敷市玉島黒崎	G-21	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	倉敷市
27	倉敷市玉島爪崎	I-20	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	〃
28	倉敷市浜町	J-19	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	〃
29	倉敷市神田	J-20	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	〃
30	倉敷市草原	K-21	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	〃
31	倉敷市下津井	K-23	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	〃

別表 1 測定地点、測定項目及び頻度（地下水） その 2 継続監視調査

番号	所在地	測定地点 (メッシュ番号)	測定回数	環境基準													項目				測定機関	備考													
				カドミウム	全シアン	鉛	六価クロム	ひ素	総水銀	アルキル水銀	P C B	ジクロロメタン	四塩化炭素	1・2-ジクロロエタン	塩化ビニルモノマー	1・1-ジクロロエチレン	1・2-ジクロロエチレン	1・1・1-トリクロロエタン	1・1・2-トリクロロエタン	トリクロロエチレン		テトラクロロエチレン	1・3-ジクロロプロペン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ふっ素	ほう素	1・4-ジオキサン	要監視項目(24項目)	汚染確認年度	汚染の原因
1	高梁市成羽町成羽	F-15	2																														H10	発	
2	井原市高屋町	D-19	2																														H21	不明	
3	岡山市東区金岡東町	P-18	1			①																											H21	調査中	
4	岡山市中区藤原西町	N-17	1			①																											H11	調査中	
5	岡山市北区野田	M-18	1			①																											H 8	自然	
6	岡山市南区箕島	L-19	1																														H17	調査中	
7	岡山市北区立田	L-17	1																														H20	調査中	
8	岡山市北区今岡	L-17	1																														H21	調査中	
9	倉敷市児島唐琴	L-22	1																														H11	調査中	
10	倉敷市沖	J-19	1																														H11	調査中	
11	倉敷市中帯江	K-19	1																															H11	調査中
12	倉敷市中島	J-20	1																															H14	自然
																																		H13	発

注 1) 測定項目中の○は、汚染の発見時において環境基準を超過していた項目を示す。
 注 2) 備考欄の「発」は汚染源である工場又は事業場が特定されているもの、「自然」は自然的原因によるものと推定、「不明」は調査の結果、原因不明だったもの、「調査中」は調査実施中を示す。

別表2 測定方法及び報告下限値（地下水）

測定項目	測定方法	報告下限値 (mg/L)	左記未満 の表記
カドミウム	日本工業規格(以下、「規格」)55.2、55.3 又は 55.4 に定める方法(準備操作は規格 55 に定める方法によるほか、付表8に掲げる方法によることができる。)	0.0003	<0.0003
全シアン	規格 K0102 の 38.1.2 及び 38.2 に定める方法又は規格 K0102 の 38.1.2 及び 38.3 に定める方法	0.1	ND
鉛	規格 K0102 の 54 に定める方法	0.005	<0.005
六価クロム	規格 K0102 の 65.2 に定める方法	0.02	<0.02
ひ素	規格 K0102 の 61.2、61.3 又は 61.4 に定める方法	0.005	<0.005
総水銀	昭和 46 年環境庁告示第 59 号(以下、「告示」)付表1に掲げる方法	0.0005	<0.0005
アルキル水銀	告示付表2に掲げる方法	0.0005	ND
PCB	告示付表3に掲げる方法	0.0005	ND
ジクロロタン	規格 K0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.2 に定める方法	0.002	<0.002
四塩化炭素	規格 K0125 の 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1 又は 5.5 に定める方法	0.0002	<0.0002
塩化ビニルモノマー	平成9年環境庁告示第 10 号の付表に掲げる方法	0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	規格 K0125 の 5.1、5.2、5.3.1 又は 5.3.2 に定める方法	0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	規格 K0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.2 に定める方法	0.002	<0.002
1,2-ジクロロエチレン	1,2-ジクロロエチレンの濃度は、規格 K0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.2 により測定されたシス体の濃度と規格 K0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.1 により測定されたトランス体の濃度の和とする。	0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	規格 K0125 の 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1 又は 5.5 に定める方法	0.0005	<0.0005
1,1,2-トリクロロエタン	同上	0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	同上	0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	同上	0.0005	<0.0005
1,3-ジクロロプロペン	規格 K0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.1 に定める方法	0.0002	<0.0002
チラウム	告示付表4に掲げる方法	0.0006	<0.0006
シマジン	告示付表5の第1又は第2に掲げる方法	0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	同上	0.002	<0.002
ベンゼン	規格 K0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.2 に定める方法	0.001	<0.001
セレン	規格 K0102 の 67.2、67.3 又は 67.4 に定める方法	0.002	<0.002
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	硝酸性窒素にあつては、規格 43.2.1、43.2.3 又は 43.2.5 に定める方法	0.02	<0.02
	亜硝酸性窒素にあつては、規格 43.1 に定める方法	0.01	<0.01
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の濃度は、規格 43.2.1、43.2.3 又は 43.2.5 により測定された硝酸イオンの濃度に換算係数 0.2259 を乗じたものと、規格 43.1 により測定された亜硝酸イオンの濃度に換算係数 0.3045 を乗じたものの和とする。	0.03	<0.03
ふっ素	規格 K0102 の 34.1 に定める方法又は規格 K0102 の 34.1c) (注(6)第三文を除く。) に定める方法 (懸濁物質及びイオンクロマトグラフ法で妨害となる物質が共存しない場合にあつては、これを省略することができる。) 及び告示付表 6 に掲げる方法	0.08	<0.08
ほう素	規格 K0102 の 47.1、47.3 又は 47.4 に定める方法	0.03	<0.03
1,4-ジオキサン	告示付表7に掲げる方法	0.005	<0.005

環境基準項目

測定項目	測定方法	報告下限値 (mg/L)	左記未満 の表記
クロホルム	規格 K0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.1 に定める方法	0.006	<0.006
1,2-ジクロロプロパン	同上	0.006	<0.006
p-ジクロロベンゼン	同上	0.02	<0.02
イキサチオン	平成5年4月28日付け環水規第121号付表(以下、「付表」)1の第1又は第2に掲げる方法	0.0008	<0.0008
ダイズリン	付表1の第1又は第2に掲げる方法	0.0005	<0.0005
フェントチオン(MEP)	同上	0.0003	<0.0003
イプロチオラン	同上	0.004	<0.004
オキシ銅(有機銅)	付表2に掲げる方法	0.004	<0.004
クロタコニル(TPN)	付表1の第1又は第2に掲げる方法	0.004	<0.004
プロピザミド	同上	0.0008	<0.0008
EPN	同上	0.0006	<0.0006
ジクロルボス(DDVP)	同上	0.001	<0.001
フェブカルブ(BPMC)	同上	0.002	<0.002
イプロヘンホス(IBP)	同上	0.0008	<0.0008
クロニトロフェン(CNP)	同上	0.0001	<0.0001
トルエン	規格 K0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.2 に定める方法	0.06	<0.06
キシレン	同上	0.04	<0.04
フタル酸ジエチルヘキシル	付表3の第1又は第2に掲げる方法	0.006	<0.006
ニッケル	規格 K0125 の 59.3 に定める方法又は付表4若しくは付表5に掲げる方法	0.005	<0.005
モリブデン	規格 K0125 の 68.2 に定める方法又は付表4若しくは付表5に掲げる方法	0.01	<0.01
アンチモン	平成16年3月31日付け環水企発第040331003号環水管発第040331005号通知(以下、「追加通知」)付表5の第1、第2又は第3に掲げる方法	0.0005	<0.0005
エピクロロヒドリン	追加通知付表2に掲げる方法	0.0001	<0.0001
全マンガン	規格 K0125 の 56.2、56.3、56.4 又は 56.5 に定める方法	0.02	<0.02
ウラン	追加通知付表4の第1又は第2に掲げる方法	0.0002	<0.0002

備考 上表に掲げる報告下限値は、定量下限値と同じ数値とする。

別図 平成24年度地下水水質調査地点図

